

第24回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 平成28年2月16日（火）
テーマ ボランティア活動
参加者 齋藤 英一さん（高野山西）
神田 幸子さん（西中）
智和 譲さん（国分寺）
山崎 憲光さん（川崎）
船木 美佐穂さん（北園町）
黒田 雄基さん（事務局・山北）

津山市社会福祉協議会（以下、社協）に所属するボランティア交流会の皆さんと市長が、ボランティア活動について意見交換を行いました。



参加者 わたしたちの交流会の中には24サークルあり、約360人が活動しています。子育て支援をはじめ、人形劇、障害者・高齢者の支援など、その内容は多岐にわたります。

市民の皆さんから、活動内容がわからないと言われるので、さらにPRが必要だと思っています。PRの支援を市や社協にお願いしたいです。

市長 ボランティアの皆さんの日ごろの活動に感謝しています。ぜひ、PRのお手伝いをしたいと思います。現在は高齢者でもフェイスブックを利用する人が増えているので、社協から情報をいただき、まずは、市のフェイスブックでサークル紹介をしたいと思っています。報道機関にも取り上げてもらえるよう、橋渡しをしたいですね。

参加者 ボランティアのメンバーの大半は高齢者ですが、元気な人が多く、ボランティアをすることで津山市をもっと元気にしたいと思っています。さらに、たくさんの人に参加してほしいので、退職後、やりたいことを探している人などがいれば、ぜひ、一緒に活動してもらいたいですね。

市長 ボランティアに参加する人が増えるといいですね。活動される皆さんが本当にさまざまな場所で活躍することができ、津山が福祉でつながるまちになってほしいです。

参加者 わたしたちの活動は、行政の手が届きにくい、きめ細やかな部分を担っていると思っています。本当に手を差し伸べてあげないといけない人に知ってもらうことが必要です。

また、今後は、さまざまな団体とも交流しながらPRしていきたいです。先日、わたしは民生委員の会合に参加してサークルの紹介をしてきました。民生委員の皆さんが、会合で得た情報を地域に持ち帰り、さらに紹介してくれるとうれしいですね。

市長 今の社会の中で、ボランティアの皆さんのように支えてくださっている人がたくさんいるということを、市民の皆さんに伝えたいですね。

また、市の職員約890人が、ボランティア団体の活動を常に頭に入れ、仕事で連携していける体制づくりも考えていきたいと思っています。